

事業番号	08 02 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	外国人旅行者戦略的誘致推進事業	部局	観光スポーツ部	課・室	観光誘客課	
		実施期間	H14～	E-mail	go-nagano@pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う水際措置により、外国人延べ宿泊者数は6.3万人泊（令和3年）となっており、コロナ前の157.8万人泊（令和元年）と比較して96%下落した。
 ・水際対策の緩和（令和4年10月）によるインバウンド本格再開を受け、実績のある国・地域の需要を確実に獲得するとともに、持続可能な観光地域づくりを推進するため、観光消費額を最大化できるインバウンド需要を取り込んでいく必要がある。

2 事業目的

新型コロナウイルス感染症により大きな打撃を受けている観光地の再生と持続可能な観光地域づくりを推進するため、インバウンド本格再開の機を確実に捉え、（一社）長野県観光機構（地域連携DMO）を中心に、外国人旅行者の「滞在日数の長期化」、「消費単価の向上」、「リピーターの獲得」に繋げる、マーケティングに基づいた戦略的なプロモーションを実施するとともに、外国人旅行者がストレスなく、安全・安心・快適に観光を満喫できる環境整備を推進する。

3 事業目的を達成するための取組

- ①戦略的なプロモーションの展開
- ・欧米豪の富裕層を誘客し観光消費額の拡大を図るため、現地コーディネーターを新たに設置しプロモーションを展開
 - ・長野県の自然・アクティビティの魅力をPRするため、「ATWS（アドベンチャートラベルワールドサミット）北海道」におけるプロモーションを実施
 - ・SNS等を活用したデジタルプロモーションを実施
 - ・インバウンド需要の急速な回復に対応した情報発信・旅行者の利便性向上のため、多言語対応マップを中心とした情報発信媒体等を製作
- ②ポストコロナを見据えた受入環境整備の推進
- ・外国人旅行者がストレスなく県内を旅行できるよう「NAGANO多言語コールセンター」を運営

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度目標値	達成状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	欧（独）米豪市場からの延べ宿泊者数（暦年）	万人	0.2	1.5	↗	15.4	↗	13.1	達成	国際航空運送協会(IATA)の予測において、令和5年の世界全体の国際航空旅客数が令和元年比80%とされていることから、令和元年の県内延べ宿泊者数16.3万人（観光庁 宿泊旅行統計）の80%を目標とする。 ※R5年度9月補正予算案シートに記載したR4年度実績が見込値だったため修正しました。（修正前：10.3、修正後：1.5）	
②	NAGANO多言語コールセンター利用件数	件	506	611	↗	953	↗	967	未達成	国際航空運送協会(IATA)の予測において、令和5年の世界全体の国際航空旅客数が令和元年比80%とされていることから、令和元年度の利用件数1,209件の80%を目標とする。 ※R5年度9月補正予算案シートに記載したR4年度実績が見込値だったため修正しました。（修正前：425、修正後：611）	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
3-1⑥	世界水準の山岳高原観光地づくりの推進	★観光消費額	億円	2021 (R3)	5,154	2022 (R4)	6,023	2023 (R5)	8,549	2027 (R9)	9,000
3-1⑥	世界水準の山岳高原観光地づくりの推進	訪日外国人旅行者の観光消費額	億円	2021 (R3)	0	2022 (R4)	37	2023 (R5)	541	2027 (R9)	747
3-1⑥	世界水準の山岳高原観光地づくりの推進	★外国人延べ宿泊者数	万人泊	2021 (R3)	6	2022 (R4)	18	2023 (R5)	149	2027 (R9)	207

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計			
				(予算現額)			
R5年度	0	104,677	5,000	109,677	86,596	105,554	3.0
R4年度	0	67,247	20,088	87,335	64,987	83,871	3.0
R3年度	0	65,373	0	65,373	65,373	63,979	3.0

事業番号	08 02 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	外国人旅行者戦略的誘致推進事業		部局	観光スポーツ部	課・室	観光誘客課

7 主な取組実績と成果

<p>①戦略的なプロモーションの展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独、米、豪の3ヶ国に現地コーディネーターを設置し、商談会やウェビナー等を開催 ・北海道で開催された「ATWS2023」に出展し、長野県の自然・アクティビティの魅力をPR ・知事の北京でのトップセールスに併せ、北京でスキークラブ・サークルのスキー愛好家等を対象とした観光プロモーションを実施 ・「facebook」や「小紅書（RED）」等のSNSを活用し、本県観光コンテンツのデジタルプロモーションを実施 ・多言語マップ（デジタル版含む）を作成し、インバウンド向けに本県観光に関する情報を発信 <p>②ポストコロナを見据えた受入環境整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・24時間、21言語対応の「NAGANO多言語コールセンター」を運営し、通算953回の利用実績あり（R5.4.1～R6.3.31）
--

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	欧（独）米豪市場からの延べ宿泊者数（暦年）	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	達成
令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことによって人流が活発化し、インバウンド需要が回復する中、欧（独）米豪にそれぞれ現地コーディネーターを設置する等、市場別に戦略的なプロモーションを行った結果、目標値以上の誘客に繋がったと考えられる。							
指標②	NAGANO多言語コールセンター利用件数	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	未達成
インバウンド需要が回復し、訪日旅行者数が増加するのに比例して多言語コールセンターの利用件数も増加したと考えられる。目標値には僅かに届かなかったものの、達成率は約98.5%であることから、目標は概ね達成できたと言える。							

9 今後の事業の方向性

<p>(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の5類移行によってインバウンド需要が回復したこともあり、訪日外国人旅行者の延べ宿泊者数はコロナ禍前である令和元年の9割まで回復した。アジアを中心とした本県実績国からの誘客には引き続き取り組みつつ、更に多くの欧米豪を中心とした高付加価値旅行者層を誘客するため、高付加価値市場に向けた取り組みを拡充していくことが課題。 ・本県のインバウンド需要が回復するに伴い多言語コールセンターの利用件数も増加したと考えられるが、同コールセンターについては広報活動が不足していると考えられるため、認知度向上に繋がる取り組みを行って利用件数を更に増やしていくことが課題。
<p>(2) 事業改善の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高付加価値旅行者層を中心に需要が高いアドベンチャーツーリズムを促進するため、県内の自然を活かしたアクティビティを行う上で必要なセーフティスキルや、県内の歴史・文化等について知識を有したガイドの育成を目的とした研修を行う。 ・県内の市町村及び観光事業者と連携し、海外からの誘客を促進する取り組みを行う。 ・多言語コールセンターについて周知が可能なパンフレット等を制作し、県内各地で配布・設置する。

事業名	外国人旅行者戦略的誘致推進事業	部局	観光スポーツ部	課・室	観光誘客課
-----	-----------------	----	---------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	インバウンド誘致促進事業	50,058 千円	51,230 千円	103,710 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	高付加価値旅行市場開拓に向けたプロモーション事業等	負担金	高付加価値旅行市場(欧米豪)からの誘客獲得に向け、独・米・豪の3ヶ国に現地コーディネーターを設置し、現地でプロモーションを実施。 負担先：（一社）長野県観光機構 ・商談会展出…独：商談17件 豪：商談22件 ・ウェビナー開催…独：21名参加 北米：54名参加 豪：49名参加	
2	アドベンチャーツーリズム推進事業	負担金	本県アドベンチャーツーリズム（AT）の魅力の世界に発信するため、「ATWS北海道大会」（ATの世界大会）を活用したプロモーションを実施。 負担先：（一社）長野県観光機構 ATWS北海道…本県にAT関係者を招いて7日間のエクスカージョン実施	
3	学習旅行誘致推進事業	負担金	国内外からの学習旅行・訪日旅行の誘致・受入を推進。 負担先：（一社）長野県観光機構 ・学習旅行誘致推進員…1名設置 ・訪日教育旅行…学校交流サポート45件1,287人、視察受け入れ7件76人 ・国内学習旅行…商談会3回、キャラバン4回、営業7回	
4	インバウンド需要回復に伴う情報発信強化	負担金	インバウンド観光客への情報発信及び着地での利便性向上のため、多言語観光マップの製作・印刷およびデジタルパンフレットを作成 多言語マップ製作：計5.5万部、デジタルパンフレット作成	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
2	インバウンド支援センター設置事業	13,921 千円	12,553 千円	1,844 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	国際観光情報発信員による情報発信事業	負担金	中国SNS「小红书」及びfacebook（繁体字圏向け「日本長野県旅遊情報」、英語圏向け「Go Nagano」）を中心に3言語による情報発信を実施。 負担先：（一社）長野県観光機構 ・小红书…投稿数：136件 フォロワー数：5,032人 ビュー数：332,678回 ・「日本長野県旅遊情報」…投稿リーチ数：6,567人 フォロワー数：771人 ・「Go Nagano」…投稿数：107件 フォロワー数：19,274人	
2	多言語コールセンター設置事業	負担金	コミュニケーション問題解決のための「NAGANO多言語コールセンター」を運営。 負担先：（一社）長野県観光機構 多言語コールセンター利用件数（R5.4～R6.3） 953回、21言語対応	